

令和5年度入学 総合政策学部 一般選抜・前期 試験問題の出典

種別	大問 番号	著者名	著作物名	書名等	版元
総合 問題	資料 A	岸本 重陳	新版 経済のしくみ100話	1994年 P194-195より 一部改変	岩波書店
	資料 B	岸本 重陳	新版 経済のしくみ100話	1994年 P134-135より 一部改変	岩波書店
	資料 C	森 宏一郎	人にやさしい医療の経済学	2013年 P96より 一部改変	信山社
	資料 D	横浜市経済局 中小企業振興 部中小企業振 興課	【補足資料】健康経営の効 果測定 第1回調査結果の ご報告《横浜市内中小企業 等》	2018年 図1 健康リスクと労働 生産性損失 <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/kohokocho/press/keizai/2018/20180607-024-27565.files/phpKK7Th0.pdf">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/kohokocho/press/keizai/2018/20180607-024-27565.files/phpKK7Th0.pdf</a> 内 の図表5に基づき作成	横浜市経済局 中小企業振興 部中小企業振 興課
	資料 E	厚生労働省	「平成28年版 労働経済の 分析－誰もが活躍できる社 会の実現と労働生産性の向 上に向けた課題－」「第2－ (2)－4図 労働生産性と賃金 の関係②	図2 日本の労働生産性 の推移 図3 日本の賃金水準の 推移 <a href="https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/16/backdata/2-2-04.html">https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/16/backdata/2-2-04.html</a> に基づき作成	厚生労働省

令和5年度 一般選抜・前期

## 総合政策学部

# 総合問題 (120分)

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は、5ページあります。なお、下書き用紙が2枚あります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、必ず黒鉛筆(シャープペンシルも可)で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 5 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
- 8 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

資料(A)～(E)を読み、あとの問いに答えなさい。

資料(A)

**この部分の問題は、著作権の関係により公開できません。**

(岸本重陳『新版 経済のしくみ 100 話』, 岩波書店, 1994 年, pp.194-195 より, 一部改変)

資料(B)

この部分の問題は、著作権の関係により公開できません。

(岸本重陳『新版 経済のしくみ 100 話』, 岩波書店, 1994 年, pp.134-135 より, 一部改変)

資料(C)

感染症対策や公衆衛生の視点では、患者への医療サービスが行き届いてくると、疾病リスクを抱える人々にそのリスクを引き下げるといふ便益を与える。

(中 略)

直感的に理解できる例としては、予防接種がある。予防接種をする人の割合が高くなってくると、予防接種をしない人にもその疾病リスクが低下することで便益を与えることになる。逆に、感染性の病気にかかった人が経済的な理由で医療サービスを受けないと、その感染性の病気が伝播・感染するというリスクが高くなる。したがって、感染性の病気にかかった患者に医療サービスを提供することは、国民全体の利益になる。

(森宏一郎『人にやさしい医療の経済学』, 信山社, 2013 年, p.96 より, 一部改変)

資料(D)

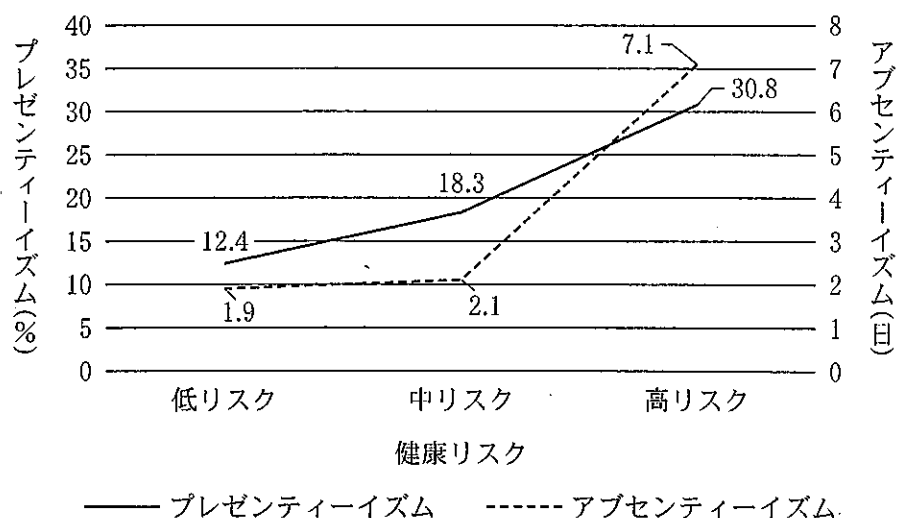


図1：健康リスクと労働生産性損失

注：この調査は、横浜市と東京大学政策ビジョン研究センターが協働して、横浜市内にある中小規模の6事業所に勤務する157人の従業員の生活習慣や健康状態と労働生産性(労働生産性とは、労働者1人当たりが生み出す成果のこと)の状況、及びその関係性を定量的に把握したものである。

注：健康リスクとは、調査対象の従業員の生活習慣および健康状態の良し悪しのことである。健康リスクが高いほど、生活習慣や健康状態が悪いということを表す。

注：プレゼンティーイズムとは、何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力が低下している状態の程度(損失割合)を表す。また、アブセンティーイズムとは、病気・けがなどにより欠勤した日数を表す。

(横浜市経済局中小企業振興部中小企業振興課【補足資料】健康経営の効果測定 第1回調査結果のご報告《横浜市内中小企業等》, 2018年, <<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2018/20180607-024-27565.files/phpKK7Th0.pdf>>内の図表5に基づき作成)

資料(E)

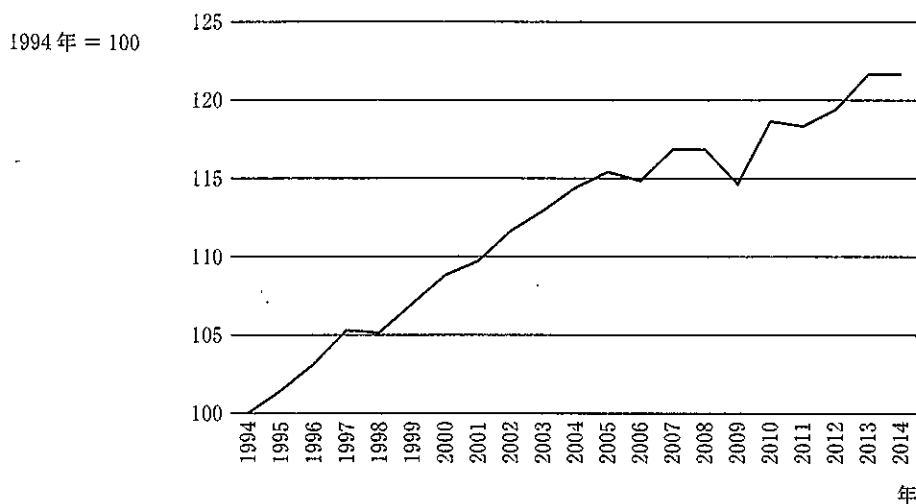


図2：日本の労働生産性の推移

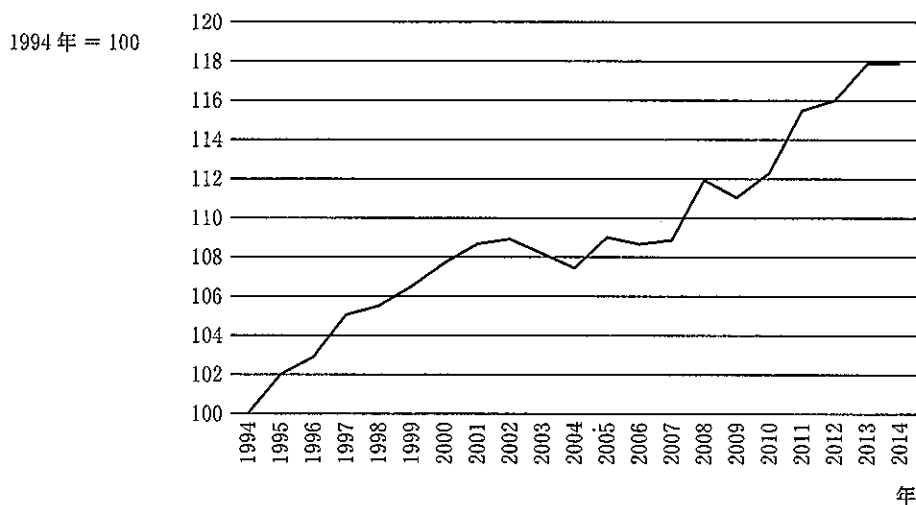


図3：日本の賃金水準の推移

注：労働生産性が高ければ、投入された労働力がより効率的に生産に利用されていると捉えることができる。

注：賃金水準とは、労働者に支払われる賃金の金額の水準のことである。

注：図2、図3ともに1994年の水準を100としたときのそれぞれの値の水準を示している。

(厚生労働省『平成28年版 労働経済の分析 ―誰もが活躍できる社会の実現と労働生産性の向上に向けた課題―』[第2-(2)-4図 労働生産性と賃金の関係②]<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/16/backdata/2-2-04.html>に基づき作成)

問 1 下線部(c), (g), (h), (j), (k)のカタカナの部分を書きなさい。

問 2 下線部(a)について、「こういうやり方」とは、どのようなやりかたか。資料(A)を踏まえて 50 字以内で記述しなさい。

問 3 下線部(b)「連帯による自助」とはどういうことか。保険の役割に着目しつつ、資料(A)および資料(B)を踏まえて 60 字以内で記述しなさい。

問 4 下線部(f)のことわざの意味を 40 字以内で記述しなさい。

問 5 下線部(e)に関連して、医療保険が整備されると、なぜ単に保険料を負担するだけの人も得をす  
ると考えられるのか。資料(C), 資料(D)および資料(E)を踏まえて 400 字以内で記述しなさい。

問 6 下線部(i)に関連して、次の計算をしなさい。

ある病気に罹ると一人当たり 100 万円の保険金がもらえる保険プランを保険会社が運営する。  
この保険プランに 1 万人が加入し、このプランに加入する各人は同額の保険料を支払う。加入し  
た 1 万人の中からその病気に罹る人が 4 人発生すると仮定する。各人が負担すべきこの保険プラ  
ンの保険料は何円になるか、解答欄に計算過程および保険料の値として正しい値を記述しなさい。  
ただし、保険会社が得た保険料収入は全て保険金支払いのために使われるものとする。

問 7 下線部(d)に関連して、「自分は病気になることもないから公的な医療保険の保険料を支払いた  
くない」と考えている人がいるとしよう。その人に医療保険の保険料を支払ってもらうために説  
得したい。その際にどのように説得するべきか。資料(A)~(E)の内容より考察されることを踏まえ  
て 400 字以内で記述しなさい。